

関西学院大学 研究成果報告

2024年 5月 10日

関西学院 院長殿

所属： 社会学部
職名： 教授
氏名： 石田 淳

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input checked="" type="checkbox"/> 関西学院留学 長期（滞在国：中華民国（台湾）） <input type="checkbox"/> 関西学院留学 短期（滞在国： ） <input type="checkbox"/> 宣教師研究期間 <input type="checkbox"/> 関西学院外留学（滞在国： ）
研究課題	台湾におけるエスニック・ナショナルアイデンティティの構造と変容
研究実施場所	中華民国（台湾），国立陽明交通大学
研究期間	2023年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日（ 12 ヶ月）

◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

本研究は、原住民、本省人（閩南人、客家人）、外省人、新移民といった多様なエスニック集団（族群）で構成される台湾社会の実際を、量的データの分析と現地調査によって実証することを目的とする。この目的のために、既存先行研究、量的調査データによる分析をすすめ、台湾におけるエスニック・ナショナルアイデンティティの構造と変化を概観するとともに、日治時代の文化財保存運動や客家文化の再発見など、エスニック・ナショナル・アイデンティティにかかわる文化・政治現象に関する現地調査を実施した。研究の一部は科研費プロジェクトとして実施した。

具体的には、中国語文献を中心に台湾エスニック・ナショナル・アイデンティティに関する先行研究についての包括的なサーベイを実施し、近年の研究動向をまとめた。

エスニック・ナショナル・アイデンティティにかかわる文化・政治現象に関する現地調査として、台北・高雄・台南・台中・新竹・花蓮などの各都市の清朝・日本統治時代・戦後の歴史的建築物や文化財の保存・活用状況について調査した。とくに、近年戦後の眷村（主に日本統治時代の政府・企業の宿舎を再利用した外省人居住区域）の保存と再活用が進んでおり、その中でどのように外省人の歴史と文化が語られ直されているのかに注目して調査した。また、台湾における地理的・アイデンティティ的「周縁」に置かれる離島におけ

るエスニック・ナショナル・アイデンティティの現状を理解するために、中国本土と隣接する金門島において調査を実施し、戦跡の利用状況の調査、文化関係者へのインタビューを実施した。

さらに、台湾エスニック・ナショナル・アイデンティティ調査のウェブ調査を実施するための検討を進めた。まず、調査分析手法として、重層的で多層的であいまいなアイデンティティの様相を把握するために、ファジィ集合分析を記述モデルとして用いるアイデアを考案し、その具体的方法について検討を行った。分析手法のアイデアについては北田・筒井編（2023）において編著論文として発表した。つぎに、ファジィ集合分析を前提とした調査票の検討を進め、複数回のプレサーベイを実施した。とくに、ある台湾人家族を対象として2023年8月に実施した調査について、エスニック・ナショナル・アイデンティティの世代間の継承と差異、台湾人・中国人アイデンティティの外延に注目して分析した結果を台湾社会学会年会にて報告した。2024年3月にはサンプルサイズ100のウェブ調査をプレ調査として実施し、結果の検討を踏まえて2024年度に実施予定の本調査の調査票を確定させた。また、複数の調査会社と交渉を進め、本調査を委託する調査会社を選定した。

これらの研究に関連する理論研究として、ファジィ・アイデンティティを前提とした居住分離のシミュレーション・モデルを構築し分析を行った。その結果、アイデンティティの強いエージェントほど定住に至りにくいこと、結果的に強いアイデンティティ同士が隣接することで、近隣の平均的ファジネスが減少する可能性があることが分かった。この結果は、*Journal of Computational Social Science*誌上で公表した。

【本研究に関連する研究成果】

北田暁大・筒井淳也（編），2023，『岩波講座 社会学 第1巻 理論・方法』岩波書店（分担執筆：石田淳，「社会的カテゴリーの集合論モデル——台湾エスニック・ナショナル・アイデンティティの事例分析」Pp. 195-212）。

林怡蓉・石田淳，2023，「台湾族群，國族認同的集合論分析」2023台湾社會學會年會（於：國立台北大學）。

Ishida, Atsushi, 2023, "A Fuzzy Set Extension of Schelling's Spatial Segregation Model," *Journal of Computational Social Science*.

<https://doi.org/10.1007/s42001-023-00234-7>

以上

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※関西学院留学は所属長を経て、宣教師研究期間の大学教員は学部長及び学長を経て院長に、高中部教員は各部長及び高中部長を経て院長に提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。